



ホンモノとの出会いが

ホンモノの学びを創る



常石ともに学園 だより

眺洋山

ちょうようざん

学校教育目標 自立 共生 自己実現

2022

7

月

お知らせ information

素晴らしいヴァイオリンの音色が、心地よく響きました！

6月20日(月)に、体育館でヴァイオリン演奏会が開催されました。ヴァイオリニストのKENTAさん、上里はな子さん、ピアニストの島田彩乃さんが来てくださり、子どもたちのために、素晴らしい演奏をしてくださいました。

子どもたちにとって、クラシックの曲は聴きなじみのない曲でしたが、ヴァイオリンの心地よい、素晴らしい響きに、子どもたちは聞き入っていました。

ホンモノにふれることができる機会は、なかなかありません。子どもたちにとっては、ホンモノに出会えた素晴らしい時間となりました。



いざという時のために、ふだんからできること



6月30日(木)に、避難訓練を行いました。今回の訓練は、校内に不審者が侵入した、という想定で、福山西警察署の方にもご協力いただき、実施しました。

主には、教職員による訓練となりましたが、子どもたちも、放送を聞き不審者の動きを確認する、教室の入り口を施錠する、入り口から離れた場所へ避難するなど、自分の安全を守るための行動を取りました。

また、訓練後には、体育館で警察署の方から不審者に遭遇したり、怖い目に合いそうになったりしたとき、どのように行動すればよいかを学びました。

「いか・の・お・す・し」を合言葉に、自分の、友だちの安全を守る行動を、ふだんから意識できるよう、ご家庭でも子どもたちと話してみてください。



参観日へのご参加、ありがとうございました

6月24日と7月1日の参観日では、たくさんの保護者のみなさんにご参加いただき、ありがとうございました。

また、学級懇談後の対話の会にも、多くの方にご参加いただき、交流することができました。時間が短かったため、十分な交流とはいえませんでした。保護者同士の交流を深める場を、今後もつくりたいと思います。

引き続き、学校、家庭、地域がともに学び、進んでいけるよう、御協力をお願いいたします。



学校共同体としての催し

子どもたちは、催しを通して喜びや悲しみなどを、一緒に分かち合います。喜怒哀楽をともにすることで、子どもたちは、自分がたった一人で生きているのではないと感じ取ることができます。また、それぞれの学びを共有することで、学びが広がったり深まったりします。

本校では、始まりの集い(始業式)や入学式、運動会など、学校行事としての催しはもちろん、日々の学校生活の中で、誕生日のお祝いをしたり、一定期間の学びを簡単なプレゼンテーションや演劇にして、発表したりしています。

例えば、給食時には、委員会の子どもたちが、毎週放送でハッピーバースデーの歌を歌ったり、各教室で誕生日の友だちを祝ったりしています。

また、6月からは週末催しとして、現在やこれまでに学んだことを、クラスごとに発表しています。発表は、オンラインでつなぎ、全校の子どもたちが発表を見て、感想や意見を伝え合っています。



BHとWOの関係性

BH(ブロックアワー:教科学習)とWO(ワールドオリエンテーション)は、相互補完的な関係にあります。

BHによる基礎学力や基礎知識・技能の習得と、何かの問いをもとに探究していくWOとは、いずれも同様に重要なもので、けっしてどちらかがどちらかに取って代わるというものではありません。

例えば、子どもたちは、WOでさまざまな問いを見つけ、探究を始めると、さらに探究を深めたり広げたりするための知識や技能の必要性に気づきます。

常石パークに植えたひまわりが芽を出さず、その原因と解決策を見つけるため、子どもたちが自然と理科で学んだ「植物の発芽と成長」の条件に還って考えた、高学年のWO「常石パークの大問題」は、まさにBHとWOが往還しながら学びが深まっているものです。

子どもたちが言葉や数、理科や社会の見方・考え方、基礎知識など、探究するための重要なツールを身に付け、それらを使って自らの問いを探究し続ける、本校ではそんな学びを目指しています。



常石小学校写真館 6月のスナップ



運動会に向けて、着々と準備進行中です!



3年分の汚れは、手強い!!



みんなが滑らないよう、きれいにしています



高学年のおかげで、水泳の学習ができます!



常石の町探検! どんな発見や疑問があるかな。



地域の方々からいただいたり、収穫させていただいたりした梅が、すべての子どもたちの学びにつながっています!